

産業統計部会の審議状況について(報告)
(ガス事業生産動態統計調査)

資料7

項 目		変更内容等	部 会 審 議	審議の状況
1	今回申請された計画の変更について	○ 従来「その他」に分類していた「合成メタン」、「バイオガス」及び「水素」の次世代エネルギーについて、実態把握のため回答欄を個別に設けるもの	●	・<u>適当と整理</u> (報告実績、報告者の回答可能性等を確認。既存の「その他」欄に記載された情報について個別に回答欄を設けるものであり報告者に新たな負担を課すものではなく、エネルギー政策の基礎資料等を得ることに資することから、了承。) 【委員等からの主な意見】 ◆ これまで、報告者は「その他」を適切に記述できているか。また、この4区分の追加によって実態把握の網羅性は確保されているか。 ◆ 実績のない項目が空欄のまま放置され、実績ゼロか無回答かを区別できなくなる可能性。区別できるよう記入方法の指導を徹底すべき。 ◆ 事業者数が少なく公表できない事態が起こり得るため、そのような場合に、その他にまとめて表章する等の対応を考えてほしい。
2	統計委員会諮問第94号の答申(平成28年11月18日付け統計委第9号)における「今後の課題」への対応状況について	○ 調定数等を都道府県別に把握することについては、今後のガス小売全面自由化の進展状況を踏まえ、報告者負担や利用者ニーズにも留意しつつ、例えば、年1回の調査事項として追加する等、その把握可能性について、引き続き検討することが必要である。	●	・<u>適当と整理</u> (ガスの供給区域が都道府県単位でなく都道府県別把握の想定がないこと、そのような状況から各事業者において都道府県別報告には大きな負担が生じること、また、利活用ニーズも認められないことを確認。現時点において、本調査の今後の課題として引き続き言及するには及ばないものとして了承。) 【委員等からの主な意見】 ◆ 事業者において、ガスの供給区域が都道府県単位でなく都道府県別把握の想定がないことから、都道府県別に集計するのにコストがかかるのは理解できた。各社のシステムに位置情報はあるが都道府県単位の区分がなく、集計にコストがかかるという理解でよいか。 ◆ 生産量等を都道府県単位で分割することがそもそも難しく、客体所在地による集計しかできず、そのような集計では本来の地域別統計にならないということか。 ◆ 新規参入の判断材料等として都道府県別データを求める潜在的な声はあるか。 ◆ 都道府県は細かくすればよいという話ではなく、意味のある集計の最小単位としては、むしろブロック・全国で見るのがよいと理解してよいか。 ◆ 平成28年時点で想定されたニーズと現状の整理はどうか。

※部会日程
 ・第1回: 令和8年10月2日(金)開催
 ・答申案については、書面にて審議予定